

記事を書くコツ 児童楽しく学ぶ

本社で「しんぶん寺子屋」



「しんぶん寺子屋」で記事の書き方などを学ぶ子どもたち＝26日、福井新聞社・プレス21

新聞を通して表現力を高め
てもらおうと、福井新聞社は
26日、NIEこども塾「しん
ぶん寺子屋」の夏休みシリ
ズ1回目の講座を行った。今

後の取材や紙面作りに向け、
児童17人が記事の書き方や見
出しのポイントを学んだ。
本社の徳島泰彦NIEコー
ディネーターが講師を務め、

見出しやリード文の役割を紹
介。記事は結論を先に書いて
次第に細かな内容にする「逆
三角形」の構成が基本と説明
した。

若狭町の特産品に関する記
事を題材に、気になる言葉を
抜き出して見出しを付けるワ
ークショップでは、「おいし
くなくれ福井梅」といったオ
リジナルの見出しをひねり出
した。グループ内で講座の感
想をインタビューし合い、記



事にまとめる活動も行った。
高島子愛さん(坂井市兵庫
小5年)は「逆三角形で記事を
書くことが分かり、グルー
プで楽しく勉強できた。見出し
は難しかった」と振り返った。
8月7日の2回目は、福井
市内の商業施設を取材する予
定。講座で▽正確に聞き取り
メモする▽分からないことは
聞き直す―といった取材のポ
イントも学んでおり、本番に
向けて高島さんは「楽しみで
す」と笑顔で話していた。
最終回の同23日は紙面作り
を行う。問い合わせは、みん
なの新聞部☎0776(5
7)5122。(山口晶永)